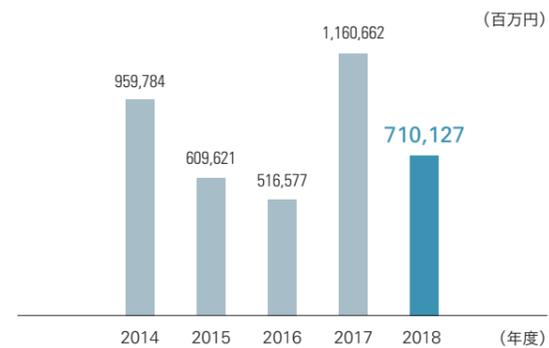


# 財務・非財務ハイライト

## 財務ハイライト

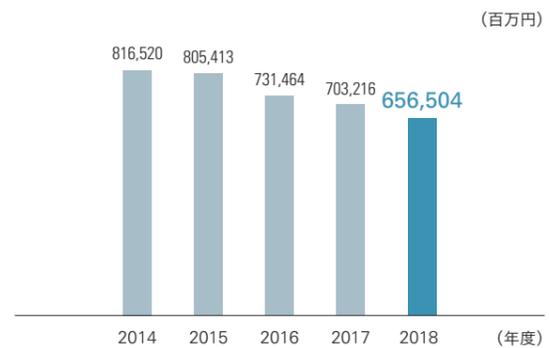
### 受注高

前年度は大型FPSOを2基受注したが、当年度は1基となったほか、環境エネルギー関係の案件が期ズレしたため、前年度比で減少。



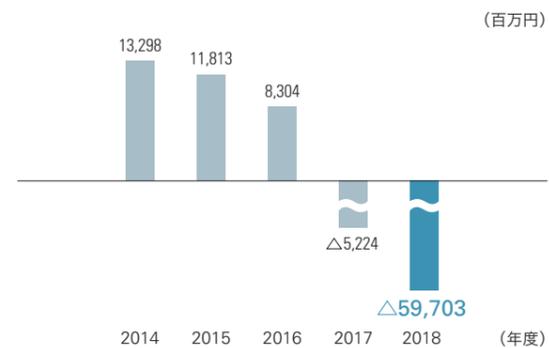
### 売上高

FPSOの建造工事が順調に進んだものの、船舶部門で操業を抑えた計画としていたこと、エンジニアリング部門で海外化学プラントの現地工事がなくなったことにより、前年度比で減少。



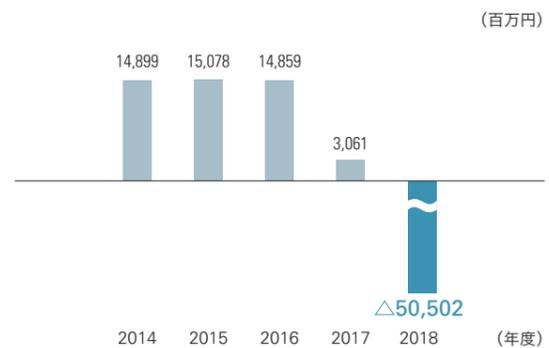
### 営業利益

営業損失は、エンジニアリング事業のインドネシア共和国向け火力発電所土木建築工事で大幅な損失を計上した影響により、前期と比べて544億78百万円増加の597億3百万円となりました。



### 経常利益

機械部門のアフターサービスおよび海洋開発部門は好調だったが、インドネシアの石炭火力発電所土木建築工事の採算が悪化し、大幅な損失となった。



## 非財務ハイライト

### 総エネルギー使用量

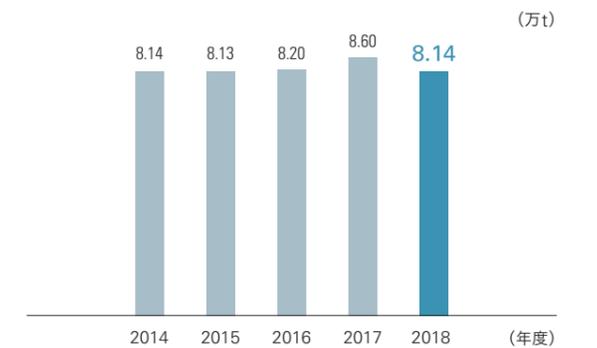
当社は従来より自家発電の燃料を重油から天然ガスへ変換するなど、CO<sub>2</sub>排出量削減活動を推進しています。2018年度の総エネルギー使用量は、当社の主力製品である船舶などの生産が減少したことから、2017年度に比べ、約3%減少しました。



\*1 TJ: テラジュール (= 1012J)  
 ■燃料  
 ■電力

### CO<sub>2</sub>排出量※2

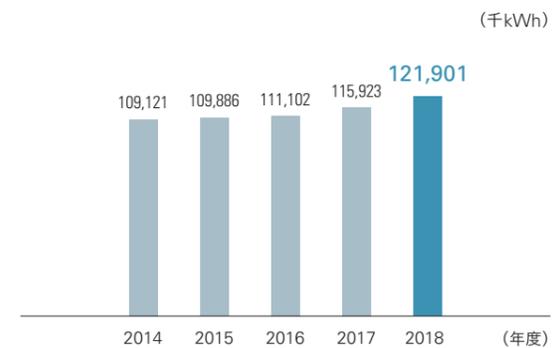
2018年度のCO<sub>2</sub>排出量は、2017年度から約5%減少しました。



\*2 CO<sub>2</sub>排出量算定: 環境省発行「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン」による。  
 電力量からのCO<sub>2</sub>排出量の算定には、環境省が公表した電力事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数の調整後排出係数を使用した。

### 電力購入量

2018年度の電力購入量は、2017年度から約5%増加しました。



### 水使用量

当社は上水(清水)と工業用水(中水)を使用しています。2018年度も節水に努めた結果、上水と工業用水の使用量合計は前年度から約4%減少しました。



■工業用水  
 ■上水